

奥様から留守番を頼まれ、ひとりの時間ができた大阪の向江さん。期限が迫った航空会社のマイルもあるし「どこかに行こう」と思い立ち、関東のローカル鉄道を乗り継ぐひとり旅に出かけました。

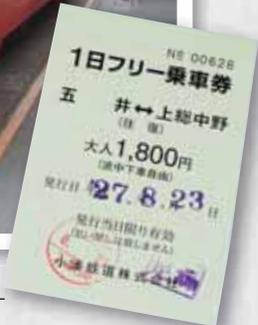
カメラと自撮り用三脚を鞆に詰めて

## 小湊鐵道・いすみ鐵道 乗り鉄の旅

向江達明さん(大阪府在住)



↑小湊鐵道始発駅の五井駅にて  
↓養老溪谷駅の足湯



→小湊鐵道の1日フリー乗車券



↑養老溪谷駅の駅ネコ。ふだんはもっという



↑小湊鐵道飯給駅の駅前の大きなトイレ(女性専用)



↑上総中野駅に近く小湊鐵道の車輛

お小遣い帳	
大阪空港～羽田空港 往復	0円
羽田～五井 空港連絡バス 往復	2700円
小湊鐵道「一日フリー乗車券」	1800円
いすみ鐵道上総中野～大多喜 往復	800円
食事代など	2640円
小湊鐵道ラスク	360円
<b>合計</b>	<b>8300円</b>

大阪(伊丹)空港から羽田空港まで飛行機で約70分、羽田空港から小湊鐵道五井駅まで空港連絡バスで約1時間5分



### 留守番×マイル ひとり旅

8月のある週末、私は家人から留守番を頼まれた。だが、家にいるのもつまらないし、貯めていた航空会社のマイルも期限が切迫してきたことだし、どこかへ出かけようと思いついた(留守番になっていないが...)。

狙いを関東のローカル鉄道に定め、早速大阪発羽田行きを予約。小型カメラと自撮り用の三脚を鞆に詰めて、羽田から空港バスで東京湾を横断し対岸の千葉へ。五井駅と上総中野駅との40km弱をつなぐ小湊鐵道の旅だ。

五井駅はJR内房線との共用駅。JR改札口にて駅員さんに声をかけて入場し、跨線橋上にある中間改札にて一日乗り放題のきっぷを買う。途中の上総鶴舞駅は人気グループ嵐のミュージックビデオが撮影された駅。その先の飯給駅の駅前には世界一広い(という)公衆トイレ(ただし女性専用)があり、さらにその先の養老溪谷駅は駅ネコと足湯で有名、と話題に事欠かない路線だ。

上総牛久駅を過ぎると家数も少なくなり、道中は単調な単線路線だが、沿道からの撮影には丁度いいポイントがいくつもあった。

養老溪谷駅の駅ネコたちは、私が訪れた日は午前中にイベントがあり、小学生が大勢訪れたということで、ほとんどがどこかへ避難してしまっていた。そして足湯。鉄道を利用する人は無料で浸かれる。駅員さんに声をかけて入る。それほど熱くないので、ゆっくりと次の列車が来るまでの間楽しんだ。

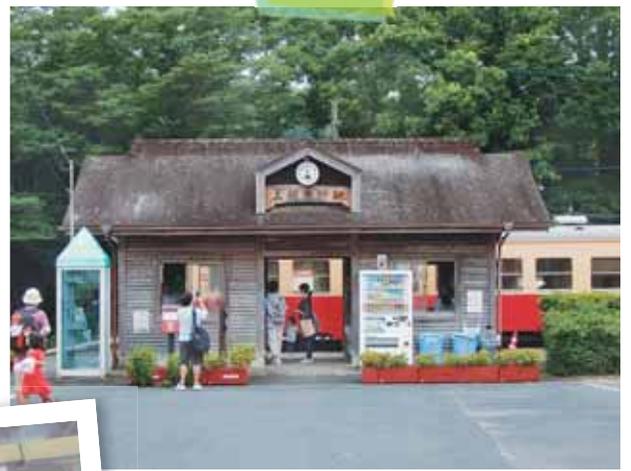
### 「何もない」がある贅沢

終点上総中野駅から、いすみ鐵道線に乗り



↑上総中野駅に入線するいすみ鉄道キハ52

→いすみ鉄道キハ52車内には、当時のままの国鉄の吊り広告が



↑上総中野駅。2社の路線が接続するが、無人駅だ



↑いすみ鉄道唯一の有人駅、大多喜駅。城下町らしく、武家屋敷と物見櫓を模した外観

## 皆さまからのプランをお待ちしています!

「私のひとり旅」では、あなたのとおきの旅プランを募集しています。鉄道旅、趣味の旅、誰かに会いに行く旅など、旅行のスタイルは問いません。あなたにしかできないこだわりのひとり旅をしていただき、その旅の様子をレポートして下さい。〈謝礼〉採用された方には、3万円を差し上げます。旅費はご負担下さい。

以下の所定事項をご記入の上、郵送・FAX・メールにてご応募下さい[①名前(フリガナ) ②住所 ③電話番号 ④FAX番号 ⑤読者番号(11桁) ⑥Eメールアドレス ⑦生年月日 ⑧性別 ⑨ご職業 ⑩あなたの旅行プラン(ルートや予算などなるべく具体的に)]

### 応募先

郵送 ▶ 〒162-8446  
東京都新宿区払方町25-5  
JTBパブリッシング  
ノジュール「私のひとり旅」係  
FAX ▶ 03-6888-7839  
メール ▶ nodule-edit@rurubu.ne.jp

※いずれも「ノジュール 私のひとり旅」と明記のうえ、お送りください。



↑小湊鐵道上総鶴舞駅。  
大正14年(1925)の開業当時の駅舎が使われている



↑小湊鐵道ラスク、360円。キハ200型の箱に、地元、牛久で評判のラスクが入っている



↑上総鶴舞駅に入線する小湊鐵道の車輛

## 養老溪谷駅足湯

ようろうけいこくえきあしゆ ☎0436-21-6771 (小湊鐵道運輸課) ☎12~17時(土曜・休日は11時~) ㊤なし  
㊶140円(駅入場料。鐵道・駅駐車場利用者は無料)

換えた。この路線には、最近JR西日本から  
買い入れた昭和の国鉄車輛キハ52とキハ28が  
走っている。大多喜駅までの間をこの懐かし  
い車輛で楽しんだ。キハ52の塗装はオリジナ  
ルの大糸線塗装からいわゆる首都圏色に変え  
られているが、車内はそのまま。なんと中吊  
りのポスターまで当時のものだった。  
大多喜駅から先の終点大原駅までは時間の  
都合で次回にまわし、五井駅へ向けて引き返  
すことにする。最後に上総鶴舞駅へ寄りた  
い。  
上総鶴舞駅も期待を裏切らなかった。雰  
気がとてもいい。周囲に建物がない、人が  
いない、騒音がない。毎日喧噪の中で暮ら  
している我々にとってはこの上ないごちそう  
だ。この駅のベンチに座りポットとしてい  
ると日常のあれこれが身体から剥がれ落ちて  
いくような気がした。  
小湊鐵道は、駅や沿線の景色が見事なく  
残っている。日本の原風景と表現されるよ  
うな風景である。どこを切り取っても写真に  
なる。今回は乗り鉄となったが、次回はぜ  
ひとも撮り鉄になりたい。  
いすみ鐵道のポスターに「ここには、「何  
もない」があります。」とあった。まさにそ  
の通りだった。いや実際はそうではなく、四  
季折々の風景がここにはある。桜や菜の花の  
中を、夏の青空の下を、秋も冬もそれぞれの  
背景の中を走る車輛を、容易に想像できた。  
この次は家内と一緒に来よう。無類のネコ  
好きである彼女に養老溪谷駅の話したら、  
二つ返事で行くって言うだろう。東京から1  
時間そこそこなのにこんな風景があることが  
うらやましく思った。